

# 政務活動費成果届出書

届出者 鈴木幸彦 (全議員を代表して提出)

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・**広報**・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市議会 第20回議会報告会 「市民と議会のつどい」

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

議会活動を市民の皆様へ報告する、また市民との意見交換をすることにより、議会への関心を深めていただき、開かれた議会を目指す。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

定例会の内容を中心に、特に市民に直結した内容を選択して、各委員会で映像と配布資料を作成し、市民に報告することで一定の目的は達成することができた。  
課題としては、参加者の固定化、報告会の形骸化、参加人数の伸び悩みが挙げられる。参加者が少ないことから、意見交換の部では限られた年代層からの意見が集中して、若い世代、特に女性の声を集めることができなかった。

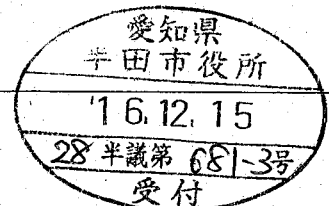
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

議会報告会を継続して開催することで、市民の皆様には行政や議会に関心をもっていただきたい。そのためには、議会としても報告内容の充実や伝え方の工夫も再検討すべき。また多くの市民に参加していただくためには、市報やホームページ、公共施設への告知チラシだけでなく、可能な限りあらゆる媒体を使って周知するとともに、過去の報告会の形式に捉われず、先進市での事例を参考にしながら「参加してみたい議会報告会」を検討すべき。そして何より、個々の議員がレベルアップをすることこそ重要な観点である。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・ どうしたら多くの方々に参加していただけるか、周知方法の検討が必要。
- ・ 開催する時間帯や場所、内容についてアンケートを参考に検討が必要。
- ・ 議会全体で挑む報告会に留まらず、各委員会ごとで旬のテーマを定め、その件について委員会単位で市民と意見交換をすることも必要ではないか。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時 間	内 容		金額 (円)	領収書 No.
10/14	19:00～ 20:30	議会報告会 会場使用料 および備品借用料 住吉福祉文化会館 未広 使用料 15,120 円	22 人で 按分	687 円 (代表者のみ 693 円)	1
			合 計	687 円 (代表者のみ 693 円)	

平成28年12月15日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 幸彦

タイトル

半田市議会 第20回議会報告会 「市民と議会のつどい」

枚中 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

① 議員 22名で按分 15,120円 / 22名 = 687円 (鈴木幸彦のみ 693円)

御住所

お名前 半田市議会様 領 収 書

下記の通り正に領収致しました。

DT 日付	28年10月24日	DA 金	百万	千	円也	¥15120
1	ご利用28年10月14日17時30分	入金種別	現金	手形	期日	年月日
2	契約金 円 初穂料 円	振込				支店
3	挙式及披露宴会費その他精算金	相殺				
4	案内状 衣装代 持込料 焼増	住吉福祉文化会館 TEL <0569> 22-3535 〒475-0902 半田市宮路町53番地				受取人署名
5	会館利用料その他精算金					西
6	消費税					
7	部屋代、備品使用料					
8						

